

NAKATSUGAWACENTER ROTARYCLUB WEEKLY REPORT



2025-26 クラブテーマ

「持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動」



よいことのために手をとり合おう

地区メッセージ「RISE with ROTARY」～地区と地域の未来を考えて～

中津川センターロータークラブ / 会長：丹羽大祐 / 幹事：鈴木欣也 / 会報：小椋武志 / 例会：月曜日 12：45～13：30 例会場：パルティール AI
事務所：中津川市かやの木町 1-20 中津川商工会議所 3F / TEL0573-66-7301 URL: <http://nakatugawa.info/ncrc1975/>

本日のプログラム ～ 納涼家族例会 ～ パルティールプラス 点鐘 18：30 定例理事会 17：50

1. 開会点鐘
2. R ソング「我らの生業」斉唱
3. 会長の時間
4. 会員慶事 皆出席表彰
5. 米山奨学金授与
6. 出席報告
7. スマイルボックス発表
8. 委員会/幹事報告
9. 閉会点鐘

<懇親会 19：00～20：45>

- ◇ 開会宣言
- ◇ 常任委員長挨拶
- ◇ 乾杯挨拶
- ◇ 歓談（ビュッフェ形式）
- ◇ R ソング「手に手つないで」
- ◇ 閉会挨拶

ロータリーレートのご案内

8 月：1 ドル = 149 円
(参考) 7 月 = 145 円

会員慶事 皆出席表彰

丸山充信君 .. 32 年
佐古和也君 .. 13 年

その他地区・クラブ行事

- ・9/7(日) 米山カウンセラー研修・中間報告(安保ホール 13：00)
出席：二村国彦君
- ・9/7(日) NPO 法人防災士なかつがわ会 15 周年記念式典(パルティールプラス 16：00) 出席：丹羽会長
- ・10/4(土) 岐阜東濃グループ I.M (多治見市 13：30～18：00)
貸切バス：商工会議所 12：00 発
- ・10/5(日) 職業奉仕委員会セミナー(名鉄グランドホテル 10：00)
出席：丹羽会長
- ・10/25(土) 会員増強セミナー(岐阜グランドホテル 10：00)
- ・10/25(土) ローター財団セミナー(岐阜グランドホテル 13：00)

今後の例会スケジュール (パルティール AI 昼食 12：15 点鐘 12：45)

- 9 月 1 日(月) 【通常例会】(奉仕プロジェクト常任 社会奉仕青少年)
卓話：地区社会奉仕青少年委員会 佐々木元司委員長
" 小池 誠 委員
- 9 月 8 日(月) 【中津川 2RC 合同例会】(執行部・管理運営 親睦活動)
パルティールプラス 例会 18：30 懇親会 19：00～21：00
送迎バス 中津川駅発 18：00 ～会議所発 18：10
- 9 月 15 日(月) 法定休日(敬老の日)
- 9 月 22 日(月) 祝日週のため休会
- 9 月 29 日(月) 【通常例会】(支援プログラム常任 米山奨学委員会)
卓話：米山奨学生ヤサス サダンジャナ君
例会前：定例理事会

地区大会 in 桑名 ご案内

開催日：11 月 8 日(土)・9 日(日)
会 場：柿安シティーホール
* 当クラブは 1 日目：11/8(土)に参加
貸切バスにて、商工会議所駐車場を出発
<プログラム>
10：30 受付・登録 順次昼食
12：00 開会・点鐘
13：05 RI 表彰 各代表スピーチ
14：30 大会決議採択
15：10 記念演奏会
16：30 閉会・点鐘

岐阜東濃グループ インターシティミーティング (I.M.) ご案内

日時：10 月 4 日(土) 点鐘 13：30 懇親会 16：40～18：30
会場：多治見市産業文化センター 5F 大ホール
各自昼食を済ませ、貸切バスにて、商工会議所駐車場を出発します
本会議：講談「米山梅吉物語」講談師：宝井琴鶴(たからいさんかく)
米山親善大使報告
各クラブ会長のプレゼン「クラブ現状報告」
講評・次期 IM 開催クラブ・記念品贈呈他
懇親会：クラブ対抗 のど自慢大会

メーカーキャップ 丸山充信君(中津川 RC) 8/7(木)・8/14(木)

東濃 RC 例会変更案内

・恵那：9/16(火) 休会 ・瑞浪：8/22(金)→25(月)移動
・土岐：9/15(月)・9/22(月) 休会 ・多治見西：8/28(木)→27(水)移動 ・多治見リバーサイド：8/26(火)→27(水)移動

会長の時間 会長 丹羽大祐 「先人の言葉（佐藤一斎）」



本日は今期のテーマでもある【学び】について触れてみます。人間力を磨くためのヒントは社会に貢献されている人の話を直接聞か、書物を通じて先人の教えを知ることが大切ではないかと思えます。私もこれまでこのようなことを実践してきたつもりですが、まだまだ多くの面で未熟であると感じています。昨年のガバナー補佐が佐藤一斎の紹介された事を機に、たまたま書庫にあった本に言志四録があり読み返してみたので、本日はその感想を述べてみたい。恥ずかしながら原書を読み解く能力はありませんので、現代語訳を読んでみました。

これは佐藤一斎が42歳から82歳までの後半生の40余年にわたって書いた語録で、「言志録」「言志後録」「言志晩録」「言志耄（てつ）録」の全四巻、1133条におよぶ修養処世の心得です。佐藤一斎の門下生として学び、語録によって影響を受けた人々の中には、佐久間象山、勝海舟、坂本竜馬、吉田松陰、木戸孝允、西郷南州、伊藤博文等数多くの明治の先覚者の名前があげられます。また、小泉元総理大臣が教育関連法案の審議の際、取り上げたため注目されるようになりました。この中のいくつかを紹介します。

◇「少にして学べば、則ち壯にして為すことあり 壯にして学べば、則ち老いて衰えず 老いて学べば、則ち死して朽ちず」

少年時に学べば壮年になって何かをなし、壮年時に学んでおけば老年になっても気力のおとろえはない。老いても学んでおれば社会に役立ち名の朽ちることはない。

この言葉は、

若いうちから学べば将来役立ち、年を重ねても学び続ければ活力は失われません。学びは一生続けることで自己成長と社会貢献につながると説いています。



◇「学は立志より要なるはなし・・・」

学問をするには、目的を抱きこれを果たそうとする心を固めることほど大切なことはない。他から強制されることなく自分の本心から出たものでなければならない。

目標を定めることによって、人は奮起し、困難を乗り越える力も湧いてくると説いています。

自分を奮い立たせ、「やるぞ！」と決意・覚悟し、「やってやってやり続ける」からこそ、心願成就に至ると説いております。

◇「艱難汝を玉にす」

我々が会う苦しみや悩み、困難のすべては自分の才能を伸ばすために天から与えられたものである。これら避けるのではなくどう克服するかを考えて行動すれば必ず自己成長をはかることができる。困難な状況や試練を乗り越える過程で、**人間性が磨かれ、成長することを表しています。辛い経験が、人を強く、賢く、そしてより良い人間へと導くという考え方です。**

彼の死後百四十年以上たった今日でも、日本のリーダーたちに大きな影響を与え続けている。まさしく、一斎は「老いて学べば、すなわち死して朽ちず」を実践した人と言える。私たちの郷土から、このような素晴らしい人物が出たということを誇りに思うと同時に、いつの時代にも変わらぬ価値を持つこの言葉をしっかりと噛みしめ、私たちの生き方を通してその尊い教えを実践していなくてはならない。人は学ぶことをやめた時、衰え朽ち始める。たとえ若くてもそうであろう。しかし、学びつづける限り、いつになっても「成長と感動」を自分の人生の友としていくことが出来るに違いない。現代でも多くの経営者がこの本を愛読書、さらには一説を座右の銘とされていることが多い。

日常生活でそれを実践することは容易ではありませんが、皆さんも一読することをお勧めいたします。



例会風景

卓話は棚橋増強委員長より、5月開催の会員増強セミナーの報告をして頂きました。



スマイルボックス 8月4日(月) 申告 20P 累計 220P

- ・棚橋増強委員長、本日の卓話よろしくお願いいたします。地区での学びをメンバーと共有出来ること楽しみにしております。皆さまと共に学び、共に行動できるメンバーを増やしましょう。会長 丹羽大祐 副会長 佐古和也 幹事 鈴木欣也
- ・誕生日を祝って頂きまして有難うございます。古川和博 赤座 薫 堀井弘之 河村良博 西尾智秀 内田彦彦
- ・妻の誕生日を祝って頂きまして有難うございます。二村国彦